

6 ごみ組成の変化

ごみの組成とは、家庭及び事業所から出た焼却対象ごみの成分を調査し、その結果をごみの収集や処理に役立てるものです。ごみを構成するものの種類の割合である物理的組成及び水分、可燃分、灰分の割合を調べる化学的組成を調査しています。

湿（湿ベース）：ごみを採取したままの状態

乾（乾ベース）：乾燥させた後の状態

		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		湿	乾	湿	乾	湿	乾	湿	乾	湿	乾
物理的組成	紙類(%)	38.3	42.8	37.6	42.0	37.0	40.6	36.9	39.7	32.0	35.0
	プラスチック類(%)	18.8	23.5	19.8	23.7	20.2	22.7	19.1	22.0	18.7	21.6
	繊維類(%)	8.2	10.6	8.5	11.4	7.4	8.9	8.5	10.8	8.3	10.1
	木竹わら類(%)	10.3	8.7	14.2	11.3	15.2	13.3	9.9	8.3	9.6	8.4
	ゴム・皮革類(%)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.6	1.1	1.4	0.3	0.4
	厨芥・貝殻・卵殻類(%)	21.2	10.2	16.5	7.1	15.2	8.0	19.0	10.6	15.2	7.3
	金属類(%)	0.8	1.2	1.0	1.5	1.0	1.6	1.2	1.8	0.8	1.1
	ガラス・陶器・土砂雑物類(%)	1.2	1.9	1.3	1.9	2.2	3.1	2.5	3.8	1.5	2.2
	その他(%)	1.4	1.2	1.1	1.1	1.5	1.2	1.9	1.6	1.3	1.3
化学的組成	総水分(%)	41.2		41.2		39.3		37.3		35.4	
	総固形分(%)	58.8		58.8		60.7		62.7		52.1	
	可燃分(%)	52.7		52.5		53.8		55.0		47.2	
	灰分(%)	6.1		6.4		6.9		7.7		5.0	
	高位発熱量(kcal/kg)	3,018		2,826		2,866		2,992		2,557	
	低位発熱量(kcal/kg)	2,537		2,345		2,423		2,548		2,157	
単位容積重量(kg/m ³)		127		118		121		129		125	

※ごみ質の分析は、昭和52年11月4日環整第95号厚生省環境衛生局水道環境部環境整備課長通知に準じて行っています。なお、湿ベース及び乾ベースの重量比の分析方法は次のとおりです。

- ① ごみピットから取り出し、試料を採取する。
- ② 試料を床上で組成ごとに計量し、湿ベースの重量比を求める。
- ③ ②で用いた試料を乾燥機等で乾燥したうえで計量し、乾ベースの重量比を求める。

※ごみの組成割合は戸塚環境センターと朝日環境センターの平均を足して2で割った数値です。

少数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

※朝日環境センターごみピット内火災によるクレーン故障のためによる運転停止につき、令和6年度測定令和7年1～3月分の朝日環境センター測定は中止した数値となります。